



夢清らかに 今庄っ子

今庄小学校 学校だより 第29号 ~ 令和5年9月29日

NIE出前授業～5年～

28日に5年生で福井新聞社の方を講師にNIEの出前授業が行われました。5年生は国語で「新聞を読もう」の学習をします。ここでは、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができることを目標としています。まずこの日の福井新聞が一人一人に配られ、気になった記事を探しました。直感的なところがあり、子供たちは写真や知っている言葉に目が行っているようでした。その後、紙面がどのように割り振られているかの説明を聞きました。このことは4年生の時にも新聞社の出前授業で話を聞いていたので、思い出しながら質問に答えていました。子供たちが答えるごとに講師の方からは「よく覚えていましたね。」と褒められていました。見ているこちらも感心しました。この日のメインは新聞の読み比べです。3月に行われたWBCで日本が優勝したときの新聞が3社分（朝日新聞、福井新聞、岩手日報）用意されていました。読み比べると3社において記事の取り上げ方に違いがあることが見えてきました。それは、①読み手が変わる②読み手によって知りたい情報が変わる③書き手によって伝えたい情報が変わるからです。子供たちは新聞記事を読み、四苦八苦しながらも、一生懸命にそれぞれで伝えたいことを探し、線を引いていました。授業後、講師の方は「子供たちに新聞を読む力がついていきますね。新聞記事を読んであれだけ速やかに線を引けるのは、大したものです。他の学校でも行いましたが、こうはいきませんでした。」と話してくださいました。これは現在NIE実践校として毎週水曜日に「NIEタイム」を設け、新聞記事を読む活動を行っている成果ではないかと感じました。



町探検～2年～

2年生が28日に町探検で今庄総合事務所、今庄図書館、コインランドリーへ行きました。2年生は1学期にも町探検に出かけましたが、そのときは主に個人の店でした。今回は公共施設がメインの探検でした。子供たちにとって公共物や公共施設を利用することは、生活の場を家庭から身近な社会へと広げることにつながります。それらを利用することで、身の回りには、みんなで使うものやみんなのための場所があり、「自分」と「みんな」という意識を持つことができるようになります。様々な公共物や公共施設の存在意義や役割、それらを支えている人々を知り、自分たちの生活を広げたり豊かにしたりすることができます。今回の訪問で、子供たちは「働いている人は何人いますか。」や「どんな仕事をしていますか。」「楽しいことや大変なことは何ですか。」など知りたいことをしっかりとインタビューすることができました。また、図書館では普段は入ることのない書庫に入らせていただき、普段目にする本以外にもたくさん本があることを知ることができました。職員の方はその都度丁寧に説明してくださり、子供たちは納得したようでした。また、今回はコインランドリーへも行きました。車で通るときに気になっていて、料金や台数などを知らなかったようです。興味関心は一人一人違うものです。子供たちの「どうなっているんだろう。」「知りたいな。」という思いをこれからも大切にしたいと感じました。職員の皆さん、ありがとうございました。



読み聞かせ

28日に読み聞かせがありました。



<読まれた本> Excuse Me! かしいさかなはかんがえた あかり